

300以上の技術が掲載

「みどりの食料システム戦略」に貢献する技術のカタログ

「みどりの技術カタログ Ver.4.0」

掲載技術を募集します

企業・大学の開発技術も対象！

みどりの食料システム戦略の実現に貢献する技術の社会実装を一層促進するため、令和5年度より以下の取組を行います。

- ①「みどりの食料システム戦略技術カタログ（みどりの技術カタログ）」掲載技術について、独法・公設試に加え、**企業・大学の開発技術も含めて募集・掲載**します。
- ②みどりの技術カタログに掲載された技術をテーマとして、農業者・関係者が持つ技術情報を交流・議論・発展させる「**みどり技術ネットワーク会議**」を開催します。

みどりの技術カタログ 掲載技術募集

時期: 令和5年 **7月**～**9月**

(各地方農政局等が設定)

対象機関: 独法, 公設試, 企業, 大学

応募要件:

- ①みどり戦略に貢献する技術
- ②効果が定量的に把握できる
- ③農業者等が入手可能 等

応募方法: 東北農政局HPを参照
https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/gizyutu_katarogu.html



みどり技術 ネットワーク会議

開催時期・場所 (予定)

R5年9月～12月:

全国 **9** か所

(スマート農業推進フォーラム
の一環で開催)

R6年2月: **東京**

みどりの技術カタログとは

農林水産省では、みどりの食料システム戦略の実現に貢献する、現在普及可能な技術及び2030年までに利用可能な技術をとりとまとめ、技術カタログとして公表しています。

技術カタログ (Ver.3.0)



「みどりの食料システム戦略」 技術カタログ

(Ver.3.0)

～現在普及可能な新技術～

令和5年5月
農林水産省

現在普及可能な技術 (令和4年1月時点) **167件**

2030年までに利用可能な技術 **81件**

+

現在普及可能な技術 (令和5年5月公開)

58件

水稻、畑作、露地野菜、果樹、施設園芸、花き、畜産 等

- ・ 技術の概要
- ・ 技術導入の効果
- ・ みどりの食料システム戦略における貢献分野
- ・ 導入の留意点
- ・ 価格帯、研究開発・改良、普及の状況
- ・ 技術の問合せ先

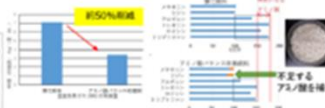
アミノ酸バランス改善飼料による
牛排せつ物由来の温室効果ガス削減

令和5年5月 東北農政局生産技術環境課 東北農政局生産技術環境課 東北農政局生産技術環境課

生産 品目：畜産

技術の概要

肉用牛種と肉用種を飼育する際に給与する飼料中の粗タンパク質含有量を1～3ポイント程度下げ、不足するアミノ酸を添加しアミノ酸バランスを調整することで、無駄になるアミノ酸が減り、生産性に影響を与えずに強力な温室効果ガスを持つ一酸化二窒素を削減できる。



効果

○ 慣行飼料と比べて同等の肥育成績

体重、体高及び肉量の发育成績や、筋肉重量、ロース芯面積及びバラの厚さ等の筋肉成績に差は見られなかった。

○ 排泄物中に発生する温室効果ガス量は、慣行飼料に比べて約半減

飼料中の粗タンパク質含有量を1～3ポイント程度下げることで、温室効果ガスに強い一酸化二窒素の排出を削減。

○ トクレスト制度の対象方法として登録済み

一酸化二窒素排出量を削減する排出削減活動を対象としてトクレスト制度に登録。



アミノ酸バランス改善飼料 慣行飼料

導入の留意点

・ 正確な飼料設計が必要

飼料中の粗タンパク質含有量を減らした分、アミノ酸を添加するため、専門家などによる正確な飼料設計が必要。

その他 (価格帯、研究開発・改良、普及の状況)



関連情報

・ 畜産圏内の肉用牛種と肉用種を飼育する際に給与する飼料中の粗タンパク質含有量を1～3ポイント程度下げ、不足するアミノ酸を添加しアミノ酸バランスを調整することで、無駄になるアミノ酸が減り、生産性に影響を与えずに強力な温室効果ガスを持つ一酸化二窒素を削減できる。

みどりカタログ



<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kanryo/seisaku/midori/catalog.html>

問い合わせ先：東北農政局生産技術環境課または
農林水産省大臣官房政策課技術政策室
推進班 (小花和、田中) TEL:03-6744-0408